

モンブラン発祥の老舗洋菓子店 スイーツの街で 永年愛され続ける名峰

モンブラン

ぐるナビ vol.8-4

「MONT-BLANC」

(モンブラン) (目黒区自由が丘、迫田一億(かずお)店主、03・3723・

1181)は、東急東横線・大井町線自由が丘駅、女神像のある駅前ロータリーから1分のところにある。誰もが一度は目にしたことがあるケーキ「モンブラン」。

日本における発祥は、

1933年(昭和8年)創業の当店である。初代店主の迫田千万億(ちまお)が山好きで、ヨーロッパ旅行でスイスの名峰モンブランに出会い、感銘した体験をもとにつくりあげたものであり、現地スイスに許可を得て店名にもなった。

「モンブラン」の表面のマロンクリームは山の岩肌をイメージし、メレンゲで散らした白い粉糖は頂上の万年雪を表現している。「美味しさが笑顔をつくり、笑顔が夢を育む」をモットーに、3代目の現在も、創業当時のままの形・レシ



ピで、只々美味しいお菓子づくり日々精進している。

上質の北海道産バターをたっぷり使い、しっとり焼き上げたクッキー「ティークンフェクト」は、長く愛され続けている商品

の一つ。ショーケースを彩り続けるケーキやデザートは、バリエーションを変えつつも旬の食材や製法にこだわりを持ってつくっている。

自由が丘の街と共に約80年。親子三代に亘り、通い続けている方や、同店の味を求めて、遠方よりはるばる訪れる方も多し。レトロ感を漂わせつつも、季節ごとにディスプレイを変える店内、通りに面した大きなウィンドウには季節・催し物ごとに変わるお菓子のメニューメントがあり、楽しい夢の気分が味わえる。

常時150種が揃う生菓子や焼き菓子は、いつの時代もワクワクさせてくれる。販売しているお菓子を、親交の厚かった東郷青児画伯の貴重な壁画、絵画が掛かるティールームでじっくり味わうこともできるので、自由が丘の街を散策したり、買い物をした後には非ご堪能いただきたい。

詳しくはホームページにて

<http://www.mont-blanc.jp/>



創業当時のままの形・レシピの「モンブラン」